

夢の本棚

発行所：松居直コレクション
プロジェクト
代 表：金戸 美紀予
事務局：石川県小松市
小馬出町10-3
空とこども絵本館
☎ 0761-23-0033
bookrin@city.komatsu.lg.jp

【活動方針】①絵本の楽しさを伝える〈親子読書の奨励〉②絵本の歴史を学び、進むべき方向を考える〈絵本文化の研究〉
③市が所有する知的財産として、次世代に正しく伝える〈絵本文化の継承〉

「こどものとも」を彩る作家と画家たち ⑨
本格的な乗り物の絵本を出したい

国鉄の名物男

◆そのうち、私は「本格的な乗り物の絵本を出したい」と思って、展覧会で乗り物の描けそうな絵描きさんを探していたんですね。そして、**新制作協会の油絵のセクションの絵描きさん**で、いつも見るたびに汽車が描いてある、どこかに変わった人だねと思いました
◆それで、**萩 太郎**先生に「いつも汽車を描いている**太田 忠**さんというの、どういう人ですか」と聞いたんです。「国鉄の現役の機関士ですよ」とのお答。さらに「どこにその人がいるんですか」と聞いたら「広島だ」とおっしゃるもんで、から、私は直ぐに広島へ飛んでいったんですね
◆「機関車が出てくる絵本を作りたいと思っ

ているんですね」とも、やってみますか」と言ったら、「僕でできるとおっしゃるんならやってみようですが、子どもの本のことにはほとんど知りませんよ」とおっしゃった。そして「私は若い時からずっと国鉄の機関士ばかりしてらるんで、そっちの方ならベテランだけれども」と。確かに国鉄では有名な人だったんです。国鉄の本社へ行きますと、太田忠さんの大きな油絵が飾ってありました。

風景を見る視点

◆そんなことで、太田さんと親しくなってお話している間に、太田さんを活かすような物語を選び出さないとだめだなあといいことで、厚かましく僕が書いたんです◆山の中へ機関車を走らせてると、風

機関車に乗せてもらって

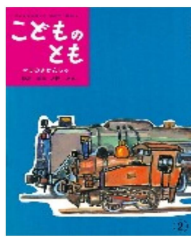
◆ある時、太田さんが「機関車に乗りませんか」と言ったんです。私はもうびっくりしました。「僕のナツパ服を貸してあげますから、それを着て機関車に乗るなさいよ。駅長にはちゃんと話しておきますから」と◆駅長さん

独特のやり方で描く

◆それから、太田さんのあの風景画の遠近法が、私はようやく納得できたんです。日本の遠近法とも違う。中国なんかの三遠法とも違う。太田さん独特のやり方なんです。機関車のことなら任



が見てる前で、機関車に石炭を汲む人が3人ぐらい乗ってますよね、そこに私がちょっと乗せていただいて、広島から太田さんの家のある三次市という所まで。1時間半ぐらいかかるかな、そこまで乗せていただいたんです◆駅長さんは運転してました。機関車の運転台から外を見ますと、みんな風景が下に見えるわけです。普通の家の2階よりまだ高い所走ってますから。



松居 直作/太田 忠画
23号/1958年2月号

んは自信满满です。機関車から見る風景ってことを、とっても見事に表現してくださっているんです。乗り物

Q：「三遠法」って？…

A：中国山水画の構図理論。高遠、深遠、平遠をいい、視点の位置によって異なる3つの構図式を、北宋中期の郭熙が『林泉高致』の中でまとめたもの。高遠は山の下から頂を仰ぎ見る形式、深遠は山

の前から後をのぞきうかがう形式、平遠は近山から遠山を望み見る形式をいう。これによって、それぞれの山の高さ、渓谷の深さ、平野の遠さが強調される。
→『世界大百科事典 第2版』より

の本の一つの典型として「やまのきかんしゃ」を出すことができてよかったと、私は思っております。(つづく)